

今年の干支は辰。たつは十二支の中で唯一、空想上の生き物であり権力や隆盛の象徴とされています。

また、辰年生まれの方は、先見の明があり、人の先を行きリーダーシップのある人だそうです。

そこで、辰年生まれの4名の方に2024年の年頭にあたり、抱負やモットーなどをお聞かせいただきました。

# 干支

## 山内 和宏さん

昭和39年4月8日生

### 税理士

「何事も初心は忘れず、基本的なことを疎かにせず日々の仕事に勤しんでいます」と語るの、市内堀川町に事務所を構え、忙しい毎日をご過ごされている山内会計事務所の山内和宏先生です。

山内先生は函館市のご出身で中部高校を卒業後、東京へ進学、電気メーカーに勤めた後平成3年に帰函。その後、税理士事務所で実務を学びつつ勉強も続けられ、平成13年に税理士免許を取得し、平成16年にそれまで培った経験と知識をもとに独立・開業されました。

仕事をするうえでのモットーを伺うと「税理士という仕事は、お客様のお話を聞きコミュニケーションをとることが大切ですし、今後長いお付き合いとなっていくケースが多いので、まずはお客様を安心させることができるように意識していますね。」とのこと。



そんな山内先生の座右の銘を伺うと「『早寝早起き』です。何をしてもまずは健康第一を意識しているの、最近はお酒を飲む量を少し減らすなど色々気を付けています。」と語ってくれた。

お休みの日の過ごし方を伺うと、「これといった趣味があるわけではないのですが、買い物に付き合ったりするなど、妻と過ごしている事が多いです。」と語る。

今後の抱負としては、「60歳まで続けられてくれたので、多くは望まずに現状維持で70歳まで、欲を言えば80歳まで現役で続けていきたいですね。」とのこと。

今年も、益々のご活躍されることを祈念いたします。

## 大和田 天真さん

平成12年2月2日生

### 税務署

「いつでも相手の話にはしっかりと耳を傾け、相槌などを打ちながら、話しやすい雰囲気や場づくりをする事を心がけています。」と語るの、令和4年度に入庁された函館税務署の大和田天真さんです。

大和田さんは、札幌市のお生まれで、北海学園大学を卒業後、国税職員となりました。



大和田さんに函館の印象を伺うと「札幌に比べると混雑するところも少なく、人混みが苦手なため過ごしやすいと感じています。」とのこと。

税務署職員を目指すこととなったきっかけを伺うと「元々公務員を目指していたのですが、税務署は、デスクワークの多い職場というイメージがありました。そんな中就職説明会などで税務署について知るうちに、調査などの業務に興味を持ち、目指すきっかけとなりました。」と語る。

上司の木村統括に印象を伺うと「毎日一生懸命に頑張っている姿を見ているし、即戦力として頑張ってくれています。」と語ってくれた。

そんな大和田さんの休日の過ごし方を伺うと「小学生から大学生までずっと硬式テニスをしてきたので、友人たちとテニスをしていることが多いですね。」とのこと。

今後の抱負については、「後輩もさらに入ってくるため、先輩としての自覚を持ちながら、自分自身もしっかりと業務をこなす自信をつけていきたいです。」と語ってくれた。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。

## 賀正



卯  
寅  
丑  
子  
亥

巳  
午  
未  
申  
酉



森山 智子さん

昭和51年10月12日生

**会員** 「お客さまに『ありがとう』と言ってもらえることが何より嬉しいし、励みになります。」と語るのは、市内鍛冶町に事務所を構える有限会社森山塗装工業の森山智子さんです。

森山さんは函館市のお生まれで、函館大学附属女子高等学校(現 函館大学付属柏稜高等学校)を卒業後、(有)森山塗装工業へ入社。お仕事を続けられる傍ら、6年前の2017年に開業された森山料理店も続けておられます。

苦労話を伺うと、「今はそんなことも無くなってきたのですが、職人として現場に入っていた当時は、現場に女性の方が少なく、女性用トイレがないなんてこともよくあったので苦勞しました。また、元々高い所は苦手なほうだったのですが、作業に集中していると恐怖心も薄れて、仕事を続けていくうちに慣れていきましたね。」と当時を振り返る。

休日の過ごし方を伺うと、「今は、料理店を始めたこともあり休みの日に仕込みをしたりしているため、1日ゆっくり休むというのはあまりないですね。



ただ、お店をやっていると普段あまり接点がないような方々ともお話しする機会があり、苦にはなりません。」とのこと。

今後の抱負を伺うと、「まずは健康第一ですね。料理店の方も徐々に事業拡大を目指していて商品化なども考えているので、そのためにも自分が健康でいて、周りの人にも助けてもらいながら、色々と活動していきたいです。」と語る。

今後もお仕事に、会の活動に、ご活躍を期待いたします。

金谷 佑介さん

昭和51年8月4日生

**青年部会** 「色々な人と関わるのが大好きなので、一つ一つの出会いを大切にしながら日々過ごせるよう心掛けています」と語るのは、令和4年度に青年部会へ入会された北海道ガス(株)の金谷佑介さんです。

金谷さんは、函館市のご出身で、ご両親の都合上、3歳から14歳まで江差町で過ごされ、15歳の時に帰函。函館工業高校を卒業後、北海道ガス(株)に入社されました。天然ガス切替事業の作業員や技術指導員・施工管理業務の現場責任者・提案営業など様々な経験を積みながら、北海道各地を転々とし令和4年の4月に函館支店へ赴任されました。



青年部会の活動で印象に残ったことを伺うと「昨年の6月にあさひ小学校で開催された『租税教室』ですね。小学生の皆様には税金の大切さについて講義する機会には他では経験できないことですし、自分自身もその大切さを再認識する機会にもなり、大変有意義な活動となりました。」と語ってくれた。

そんな金谷さんの座右の銘は、「一期一会」で、「出会いというのは言ってしまうとタイミング(運命)だと思っています。だからこそ人との出会いを大切にしていきたいと考えています。」とのこと。

今後の抱負を伺うと「今年は辰年ということで、登り竜のように飛躍の年にしたいです。また、地元の函館に戻って来れたので、もっと色々な人と出会い人脈を広げていけたらいいと考えています。」と語ってくれた。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。

賀正



卯  
寅  
丑  
子  
亥  
戌  
酉  
申  
未  
午  
巳

頌春

謹んで新春の御祝詞を  
申し上げます。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
令和6年 元旦

公益社団法人函館法人会

会長 福西 秀和

